



きょうのテーマ

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

快適な洋式トイレを備えた車両が災害時に活躍しているよ。「トイレカー」と呼ばれ、昨年の能登半島地震でも多くの車両が全国から被災地に駆けつけた。

気仙沼市のトイレトレーラーは全長5・7メートル、幅2・4メートル、高さ3・5メートルで、けん引車で移動できます。洋式トイレの個室が3部屋あり、1部屋は広々としたバリアフリー仕様です。電動リフト付きで車いすの人も利用できます。

SDGsチャレンジ

地球のためにできること

災害時に活躍トイレカー

け付けたんだって。国連の持続可能な開発目標(SDGs)の6番目「安全な水とトイレを世界中に」に通じる取り組みで、宮城県気仙沼市もトイレトレーラーを被災地に派遣したんだよ。

トイレトレーラーを貸し出され、1月7日まで避難者の生活を支えました。トイレトレーラーを及川さん(59)は「安心してトイレを利用する避難者を見て、役に立てて良かったと思いました」



トイレトレーラーの機能を説明する及川さん
=5月20日、気仙沼市の徳仙丈山

宮城県内では利府町がトイレカーを2台所有し、能登半島地震の被災地に派遣しました。栗原市と大和町、女川町、三陸町もトイレカーを導入予定で、トイレでつながる「助け合いの輪」が広がっています。

及川さんは「われわれも全国から多くの支援をいたいたので、いつか恩返しをしたいと考えていました。今回の派遣の経験を生かし、今後も支援に駆け付けたいと思います」と話します。

トイレトレーラーを貸し出され、1月7日まで避難者の生活を支えました。トイレトレーラーを及川さん(59)は「安心してトイレを利用する避難者を見て、役に立てて良かったと思いました」

トイレトレーラーを貸し出され、1月7日まで避難者の生活を支えました。トイレトレーラーを及川さん(59)は「安心してトイレを利用する避難者を見て、役に立てて良かったと思いました」と振り返ります。

機動力を生かし助け合い

- 2面 イマ★どき
3面 3分チャレンジ
4・5面 わが校わがまち スクール通信
6面 キホンがわかる こども英語
7面 投稿特集
8面 投稿特集

この日 何の日

◇12日(木) みやぎ県民防災の日
1978年の宮城県沖地震が発生した日で、宮城県が2008年に震災対策推進条例で定めました。地震の経験や教訓を思い起こし、防災意識を高めてもらうのが目的。毎年、県内各地で防災訓練が行われます。

きょうの紙面